

環境配慮型レベロック開発プロジェクト

全国標準化によるコンクリートの脱炭素推進。未来のコンクリートを、全国の力で実現します。

背景と私たちの使命

カーボンニュートラルへの社会的要請は、建設業界に大きな変革を迫っています。私たちはこの課題にどう立ち向かうべきでしょうか。



社会の要請

CO2排出量削減は企業の責務です。特にセメント・コンクリート分野は重点削減対象とされています。



国の動き

国土交通省の「脱炭素アクションプラン」（令和7年4月21日公表）により、コンクリートの低炭素化が急速に加速する可能性があります。

[詳細：国土交通省アクションプランの概要を見る](#)



プレキャストの現状と課題

各社が独自に技術開発を進めるも、優れた技術が共有されず分散。業界全体の進歩が遅れる一因となっています。

🔦 私たちの使命：個別から「全国統一規格」へ

レベロック工業会の全国ネットワークを最大限に活用し、一つの統一化された環境配慮型製品を開発・供給します。これにより、技術の分散という課題を乗り越え、「レベロック＝脱炭素標準」という新たな価値を確立することを目指します。

プロジェクトの全体像

明確な目標と計画的なロードマップに基づき、プロジェクトを着実に推進します。

プロジェクトの目標



技術開発と共有

高炉スラグ等を活用した配合を開発し、技術を全会員で共有します。



品質の証明

従来品と同等の強度・耐久性・施工性を各種試験で証明します。



技術の標準化

製造プロセスをマニュアル化し、会員企業の技術レベル向上を支援します。



認知度の向上

インタビュー動画や全国統一のPR資料で、製品の価値を広く伝えます。

開発ロードマップ

基礎調査・体制構築
25年11月末

技術標準化準備
26年1月末

製品プロトタイプ設計
26年3月末

実証実験
26年3月末

成果発表・資料作成
26年4月末

全国展開・CFP導入スタート
26年4月～

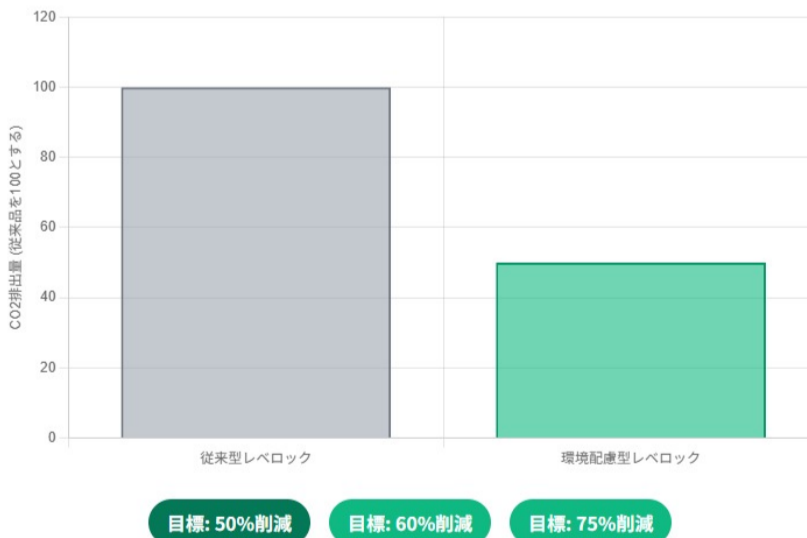
基礎調査・体制構築 25年11月末

会員へのアンケート調査を実施し、技術委員会を設置します。

[アンケート調査票\(PDF\)はこちら](#)

CO2削減インパクト

このプロジェクトが目指す、具体的なCO2削減効果を視覚的にご紹介します。ボタンをクリックして目標削減率を選択してください。



専門知識の結集：推進体制

業界内外の専門知識を結集した強力なタッグで、プロジェクトを成功に導きます。



レベロック工業会 技術委員会

企画立案から品質管理、マニュアル作成まで、プロジェクトの中核を担います。



外部専門家

大学や研究機関と連携し、技術的な裏付けを強化します。(別途協議)



賛助会員

シーカ・ジャパン様をはじめ、材料技術で不可欠な協力を得ます。

🌟 まとめ：未来のレベロックへ

プロジェクト成果物

- CO2低減型レベロックの製品仕様書
- 設計/製造マニュアル
- 全国統一PR資料 (パンフレット, Webコンテンツ)

期待される効果

このプロジェクトを通じて、社会的責任を遂行し、工業会全体の価値と市場競争力を高めます。そして、全会員の技術レベルを底上げし、建設業界の脱炭素化をリードする存在となることを目指します。